



<2026年度 図書委員会目標>

- ①「活字のせかいへ 新しい景色へ」「そうだ 図書館にいこう！」
- ②「双星高生 月に1冊 ワクワクの1冊に出会う！」

★本日5月11日より17:30まで、図書館の開館を延長します。

中間考査に向けて自習して下さい。

◆中間考査前1週間:5月11日(月)~15日(金)⇒図書館開館時間:8:40~17:30

★図書委員会(ビブリオバトルに向けて) 図書委員は集合してください。

☆1年図書委員会 5月26日(火) 15:40~16:10 図書館

☆2年図書委員会 5月27日(水) 15:40~16:10 図書館

☆3年図書委員会 5月29日(金) 15:40~16:10 図書館

※月に1冊 本を読もう! そして自分の「推し本」を見つけよう!

★★★★★★★★★★ 新着図書案内 ★★★★★★★★★★

◆2026 本屋大賞 第1位◆

『イン・ザ・メガチャーチ』



朝井 リョウ/著  
日本経済新聞出版  
あるアイドルグループの運営に参画することになった、家族と離れて暮らす男。内向的で繊細な気質ゆえ積み重なる心労を癒やしたい大学生。仲間と楽しく舞台俳優を応援していたが、とある報道で状況が一変する女。

三者三様の視点で浮かび上がる、人間の心を動かす“物語”の功罪。

◆2026 本屋大賞 第2位◆

『熟柿』佐藤 正午/著



KADOKAWA  
激しい雨の降る夜、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねたかおりは轢き逃げの罪に問われ、服役中に息子を出産する。出所後、息子に会いたいあまり園児連れ去り事件を起こした彼女は息子との接見を禁じられ、追われるように西へ西へと各地を流れてゆく。

◆2026 本屋大賞 第3位◆

『PRIZE』村山 由佳/著



文藝春秋  
天羽カインは憤怒の炎に燃えていた。本を出せばベストセラー、映像化作品多数、本屋大賞にも輝いた。それなのに、直木賞が獲れない。文壇から正当に評価されない。私の、何が駄目なの? 何としてでも認めさせてやる。全身全霊を注ぎ込んで、絶対に。

『フルハウス』堂場 瞬一/著



東京創元社  
世界に冠たるラグビー・チーム、ニューシールド代表オールブラックスに一人の日本人が入団した。ラグーマンであった著者が、ラグビー愛のすべてを込めて書き上げた究極のラグビー小説。ラグーマンの孤独、友情、絆…

ラグーマン、早見剛大の物語

『そして少女は加速する』

宮田 珠己/著 幻冬舎



高幡高校陸上部の女子リレーチームは、バトンのミスによりインターハイ出場を逃していた。傷が癒えないメンバーを抱え、それでも来年に向けて、新しいメンバーで再始動。しかし、選手の怪我、校則違反・部則違反、チームメイトの家庭問題、恋愛問題、他校ライバル選手への嫉妬、そして将来の進路の悩みなど、次々に試練が。

◆2026 本屋大賞 第4位◆

『エピクロスの処方箋』

夏川草介/著 水鈴社



「医療では、人は救えないんだよ」治せない病は山のようにあるが、癒せない哀しみはない。思想する医師・雄町哲郎は今日も京都の街をゆく一。